

令和6年6月11日

データサイエンス・オンライン講座 「社会人のためのデータサイエンス入門」の開講

総務省は、統計リテラシー向上の取組として、“データサイエンス”力の高い人材育成のため、データサイエンス・オンライン講座「社会人のためのデータサイエンス入門」を本日開講します。

本講座は、社会人・大学生を対象とした、統計データ分析の基本的な知識を学べる入門編講座です。

- データサイエンス・オンライン講座「社会人のためのデータサイエンス入門」を本日開講します。
- 本講座は、平成27年3月に開講し、これまで延べ約19万2千人に受講していただきました。
統計学の基礎や統計データの見方等、統計データ分析の基本的な知識を学習し、身近なデータの活用に役立てることができる内容となっています。
- 本講座の開講期間は、令和6年6月11日（火）～8月6日（火）です。
本講座紹介用ウェブサイト（<https://gacco.org/stat-japan/>）において、どなたでも受講登録が可能（登録料及び受講料無料）ですので、是非御活用ください。

※ 本講座は、令和5年6月に実施した講座を再び開講するものです。

※ 受講登録は令和6年7月29日（月）までです。

（別紙）

データサイエンス・オンライン講座「社会人のためのデータサイエンス入門」の概要

（連絡先）

統計局統計情報利用推進課

担当：辻元課長補佐 吉川統計専門官 石田係長

電話：03-5273-1023（直通）

E-mail: y-senryaku_atmark_soumu.go.jp

（スパムメール防止のため、「@」を「_atmark_」と表示しています。メールを送る際に「_atmark_」を「@」に直して入力してください。）

講座の目的：統計学の基礎や統計データの見方等、統計データ分析の基本的な知識を学習し、身近なデータの活用役に役立つ

開講期間：令和6年6月11日（火）～8月6日（火）

学習時間：1回10分程度×6～9回程度（1週間）×4週

課題：各週の確認テストと最終課題の実施

講師：安宅和人氏（慶應義塾大学環境情報学部教授）ほか



週	各週のテーマ	内容
1	統計データの活用	統計データを用いた分析事例を知り、統計リテラシーを学ぶ (大人がデータサイエンスを学ぶべき理由、統計データからわかること、統計リテラシーの重要性等)
2	統計学の基礎	データ分析に必要な統計学の基礎を学ぶ (データの種類、代表値、分散・標準偏差、相関係数、回帰分析、標本分布等)
3	データの見方と表し方	データの見方と適切なグラフの選び方を学ぶ (比率の見方、時系列データの見方、グラフを作る時・読む時の注意点等)
4	公的データの使い方	誰もが使える公的統計データの取得方法と使い方を学ぶ (公的データの入手方法、e-Stat ^{※1} やjSTAT MAP ^{※2} の使い方、本講座のまとめ等)

※1 政府統計の総合窓口

※2 総務省統計局及び独立行政法人統計センターが運用する、各種統計データを地図上に表示し、視覚的に統計データを把握できる地理情報システム

▶ 講座の流れ



講師による説明動画でデータサイエンスを分かりやすく解説

各週の確認テストにより理解度を確認、最終課題により習熟度を確認

確認テスト及び最終課題の得点率により修了証を取得

▶ これまでに開講したデータサイエンス・オンライン講座

「社会人のためのデータサイエンス入門」

(講座の特徴)
統計データ分析の基本的な知識を学べる入門編講座

(開講時期)
初回開講：平成27年3月
直近の開講：令和5年6月
開講回数：19回 ※特別開講含む

(学習時間)
1回10分程度×6～9回程度
(1週間)×4週

(実績)
社会人を中心に延べ
約192,000人が受講

「社会人のためのデータサイエンス演習」

(講座の特徴)
「社会人のためのデータサイエンス入門」を踏まえ、より実践的な内容へ

(開講時期)
初回開講：平成28年4月
直近の開講：令和5年10月
開講回数：13回 ※特別開講含む

(学習時間)
1回10分程度×5～7回程度
(1週間)×5週

(実績)
社会人を中心に延べ
約87,000人が受講

「誰でも使える統計オープンデータ」

(講座の特徴)
e-Stat（政府統計の総合窓口）等を使い、統計オープンデータの活用方法を学ぶ

(開講時期)
初回開講：平成29年6月
直近の開講：令和6年1月
開講回数：11回 ※特別開講含む

(学習時間)
1回10分程度×5～7回程度
(1週間)×4週

(実績)
社会人を中心に延べ
約52,000人が受講

※特別開講：参考として動画の閲覧のみ可能な講座